



中国株ウィークリーレポート

2019/11/5

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	27,347.36	301.13	1.11	1.44	17.23	23,327.46
NASDAQ	8,386.40	94.04	1.13	1.74	26.39	6,635.28
日経225	22,850.77	-76.27	-0.33	0.22	14.17	20,014.77
上海総合	2,958.20	29.14	0.99	0.11	18.62	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,952.39	65.64	1.69	1.43	31.28	3,010.65
ハンセン	27,100.76	194.04	0.72	1.63	4.86	25,845.70
中国企業	10,622.50	89.26	0.85	1.49	4.92	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は 1.6%高と反発、上海総合指数は 0.1%高と続伸

香港市場ではハンセン指数が週間で 1.6%高と反発。米中対立を巡る関連報道に引き続き左右されたほか、1日に発表された10月の財新中国製造業 PMI がポジティブサプライズとなり、ハンセン指数は1日におよそ1カ月半ぶりに 27000 ポイント台を回復した。本土市場では上海総合指数が週間で 0.1%高と小幅に反発。週初は買いが先行したが、米中協議の進展に対する懸念が浮上すると 10月31日まで3日続落。1日には10月の財新中国製造業 PMI が市場予想を上回ったことで景気減速懸念が後退し、持ち直す展開となった。

今週の展望: 香港市場は地合い改善で買い先行も週後半にかけ上値重い展開に

香港市場は好調な NY 市場や米中通商協議の進展を受けて週初は買いが先行しそうですが、週後半にかけては上値の重い展開が見込まれる。米中通商問題を巡っては1日の電話協議で「原則合意」に達したが、この先も関連報道に一喜一憂する展開が予想される。週末にかけて中国の貿易統計や物価統計の発表も予定されており、想定以上に指標が悪化していた場合には景気の先行き不安が高まりそうだ。本土市場も週初は地合いの改善を受けて堅調に推移しそうですが、上海総合指数は 3000 ポイント付近が上値のめどか。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技 (02382)	129.40	11.07
2 万洲国際 (00288)	8.49	10.98
3 石業集団 (01093)	19.82	8.42
4 創科実業 (00669)	61.50	8.18
5 瑞声科技 (02018)	51.50	6.85
6 AIAグループ (01299)	79.50	6.35
7 中国人寿保険 (02628)	20.55	5.17
8 吉利汽車 (00175)	14.86	4.80
9 碧桂園 (02007)	11.14	4.31
10 中国旺旺 (00151)	6.62	3.92

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 ヘトロファイナ (00857)	3.81	-6.62
2 信和置業 (00083)	11.84	-4.52
3 HSBC (00005)	59.60	-3.33
4 シノベック (00386)	4.51	-2.80
5 ファイナ・ユニコム (00762)	7.78	-2.51
6 ハンセン銀行 (00011)	165.10	-1.26
7 CNOOC (00883)	11.96	-0.99
8 ファイナ・モバイル (00941)	64.25	-0.31
9 中銀香港 (02388)	27.15	-0.18
10 新世界発展 (00017)	11.22	0.36

▼今週の期待材料

- ◆ 1日に米中閣僚級の電話協議開催、中国商務部は電話協議で「原則的な合意に達した」と発表
- ◆ NY 市場が好調、米中協議の進展や強い雇用統計の発表などを受けてダウ平均が過去最高値を更新
- ◆ MSCI が来週 A 株の組入比率を 15%から 20%に引き上げ、引き上げを前に先回り買いも

▼今週の懸念材料

- ◆ 8日に中国の10月の貿易統計発表、予想以上の悪化なら景気の先行き懸念が強まる公算
- ◆ 香港の住宅価格変動を示す先行指標 CCL が 10週連続下落、1日発表の最新値は前週比 0.59%下落。
- ◆ 逃亡犯条例改正案の正式撤回後も香港でデモ継続、3日にはデモ隊が新華社のビルを破壊

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 復星国際 (00656) : シティグループと戦略提携、海外事業を強化
- ☆ 世茂不動産 (00813) : 10月の不動産販売額が 53%増加、販売面積は 40%増
- ☆ レノボグループ (00992) : 7日に9月中間決算を発表、市場予想は 49%増益
- ☆ 海爾電器 (01169) : 浩沢浄水に 16.5 億 HK ドル出資、43%取得で筆頭株主に
- ☆ 中国工商銀行 (01398) : 金融科技研究院を設立、フィンテック分野の研究を加速
- ☆ 小米集団 (01810) : 日本のスマホ市場への進出計画を発表、20年にも製品投入へ
- ☆ 中国恒大集団 (03333) : 10月の不動産販売額が 70%増の 903 億元、過去最高を更新
- ★ 香港証券取引所 (00388) : 6日に7-9月期決算を発表、市場予想は 1%減益
- ★ 瑞声科技 (02018) : 8日に7-9月期決算を発表、市場予想は 22%減益
- ★ 万科企業 (02202) : 10月の不動産販売額が 20%減少、販売面積は 21%減

▼今週の主なイベント

- 11月8日(金)
- 【中国】貿易統計(10月)
- 11月9日(土)
- 【中国】CPI、PPI(10月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。